

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部			学 年	3年	
教科等名	職業			グループ名	1グループ	
ねらい	・ワークトレーニングや実習などを通して、「働く」ということへの意識を高め、必要な知識や技能を身に付ける。 ・場面に応じたコミュニケーションについて考え、実践する。 ・卒業後の生活について考え、自分の生活を改善し、豊かにしようとする態度を養う。					
担当教員	○正司 一貴 臼井 雅 尾上 真理子 高田 京子 片田 啓					
年間授業時数	66					
使用教科書	ひとりだちするためのトラブル対策 予防・回避・対処が学べる 改訂版 ジアース教育新社					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	・基本的な挨拶やマナーを身に付けよう ・ワークトレーニング	通年	○	・挨拶、返事、報告練習 ・清潔と身だしなみの確認 ・健康や余暇 ・社会人としてのルールやマナーの学習 ・スタンプ押し、封入、シュレッダー、三つ折りなどの軽作業	・自分にできる方法で、相手にわかる挨拶や報告ができる。 ・身だしなみを整える、清潔を保つ意識を高める。 ・ストレスや疲れを溜めない生活について自分の生活を振り返りながら考える。 ・マナーやルールを理解し、やってみようすることができる。 ・一定時間作業を続ける力を身に付ける	・繰り返し行う中で身に付ける。 ・タブレットを活用し、身だしなみや作業時の姿勢を確認する。 ・課題の違う複数の作業で適性を伸ばす。 ・視覚教材を活用し、自発的に活動できる環境設定をする。
4	・オリエンテーション	2	○	・年間の予定	・年間の学習内容、予定を知る。	・視覚教材を活用する。
5	・現場実習事前学習	11	○	・実習先について ・実習の目標決め	・実習を行う場所や仕事内容、1日の時程、期間などを知る。 ・昨年度までの経験を基に、適切な目標を考える。	・タブレットを活用し、視覚的に示す。 ・昨年度の実習を振り返り、実習日誌を活用し理解を深める。
	・現場実習壮行会			・目標の発表 ・実習生の話を聞く	・資料作成や発表を通して、実習への意欲を高める。 ・実習についてのイメージをもち、自分のやるべきことを意識できる。	・ワークシートを使い、事前に発表の練習を行う。
6	・現場実習事後学習	5		・評価表を基に実習を振り返っての成果と課題について ・礼状の作成	・評価されたこと、課題として指摘されたことを知る。 ・実習でお世話になった感謝の気持ちを文章で伝える。	・生徒が理解できる言葉や視覚情報で簡潔に伝える。 ・実態に合わせて、書式を工夫する。
7	・現場実習報告会	4		・実習の成果の報告	・報告を通して自分の成果と課題をより理解する。 ・人前で発表する経験を積む。	・ワークシートを使い、事前に発表の練習を行う。
9	・現場実習事前学習	8	○	・実習先について ・実習の目標について	・実習を行う場所や仕事内容、1日の時程、期間などを知る。 ・昨年度までの経験を基に、適切な目標を考える。	・タブレットを活用し、視覚的に示す。 ・昨年度の実習を振り返り、実習日誌を活用し理解を深める。
	・現場実習壮行会			・目標の発表 ・実習生の話を聞く	・実習への意欲を高める。 ・実習についてのイメージをもち、自分のやるべきことを意識できる。	・ワークシートを使い、事前に発表の練習を行う。
10	・現場実習事後学習	7		・評価表を基に実習を振り返り成果と課題について ・礼状の作成	・評価されたこと、課題として指摘されたことを知る。 ・実習でお世話になった感謝の気持ちを文章で伝える。	・生徒が理解できる言葉や資格情報を使い、簡潔に伝える。 ・実態に合わせて、書式を工夫する。
11 12	・現場実習報告会	11		・実習の成果を報告 ・卒業後に生活について	・報告を通して自分の成果と課題をより理解し、卒業までの生活を意識する。 ・人前で発表する経験を積む。	・ワークシートを使い、事前に発表の練習を行う。
1 2 3	・卒業生の話を聞こう ・卒業後の生活について	18		・卒業生に就労や生活の様子を聞く ・卒業後の生活について	・卒業生の話を聞いて、自身の卒業後の生活についてイメージをもつ。 ・生活リズムや余暇の過ごし方をイメージすることができる。	・卒業生の仕事内容や生活の仕方等を予習したり、イメージしたりしておく。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年		3年		
教科等名		職業		グループ名		2グループ		
ねらい		・産業現場等における実習に参加し、職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深める。 ・産業現場等における実習への参加を通じて、自らの課題を設定し、解決策を考え、評価・改善等を行う力を養う。 ・産業現場等における実習への参加や日々の生活を営む中で、地域社会への貢献に向けて、自らの生活を改善しようとする実践的な態度を養う。						
担当教員		○粕谷 裕之 中村 妙						
年間授業時数		66						
使用教科書		ひとりだちするためのトラブル対策 予防・回避・対処が学べる 改訂版 日本教育研究出版						
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容		ねらい(評価の観点)		指導の工夫
通 年	・挨拶、報告、連絡、相談の練習 ・TPOについて ・社会のルールやマナー	通年	○	・挨拶、報告等の練習 ・TPOの確認 ・社会人としてのルールやマナーの学習		・相手に伝わる挨拶や報告ができる。 ・TPOに応じた身だしなみができる。 ・マナーやルールの必要性を理解し、実践する。		・チェック表や視覚的な手本を示し継続して学習する。
4	・オリエンテーション	1	○	・1年間の学習内容や進路行事について		・学習内容に見通しをもつ。 ・進路に関する目標を考える。		・1年間のスケジュールを提示する。
4 5	・現場実習事前学習	10		・自己の課題理解 ・実習時の職場でのルールやマナーについて		・体験を踏まえ、自己の課題を明確にし目標設定をすることができる。 ・実習に臨むに相応しい態度を身に付け、意識や意欲を高める。		・現場実習先の情報を調べ、見通しをもって参加できるようにする。
	現場実習壮行会			・実習先や目標の発表 ・実習に向けた決意表明		・実習への意欲を高める。	・事前に発表の仕方を練習する。	
6 7	現場実習事後学習	8		・実習の振り返り ・お礼状を作成		・実習の振り返りを行い、Ⅱ期の実習で取り組むべき課題を整理する。 ・お礼状の書き方を身に付ける。		・「評価表」、「日誌」、「振り返りシート」を活用する。
	現場実習報告会			・実習の報告		・成果や課題を報告し、卒業後の進路に向けて自覚をもつ。	・事前に発表の仕方を練習する。	
6 7	求職登録	4	○	・ハローワークについて ・重度判定について		・求職時の仕事先の見つけ方や相談支援先を知り、利用の仕方を学ぶ。 ・企業就労への流れを知る。		・ハローワークのパンフレットや職業講話の資料を活用する。
9	現場実習事前学習(現場実習壮行会)	4		・Ⅱ期実習に向けた目標設定 ・実習に向けた決意表明 ・Ⅱ期実習の位置付け		・自身の課題を強く意識し、改善した姿を実習先で評価してもらえるようにする。 ・Ⅱ期実習の重要性を理解し、実習に参加する。		・Ⅰ期実習の振り返りシートを活用する。
9 10	進路決定に向けて①	10	○	・求人票と採用選考 ・福祉サービスの手続き ・自己選択、自己決定		・求人票の見方、社会保険等を知る。 ・各種の手続き等を知る。 ・これまでの実習を振り返り、進路を自ら考え、決めることができる。		・求人票等の現物を用意し、イメージをもてるようにする。
	現場実習事後指導			・実習を振り返りまとめを行う。 ・礼状を作成する。		・実習を振り返り、自身の課題を明確にし、卒業までに改善に取り組む。	・「評価表」、「日誌」、「振り返りシート」を活用する。	
11 12 1	現場実習報告会	20	○	・実習の報告		・成果や課題を報告し、卒業後の進路に向けて自覚をもつ。		・事前に発表の仕方を練習する。
	卒業後の生活①			・健康管理について ・給料、生活費について		・健康な生活を送る方法を知る。 ・適切な金銭の消費を知る。	・生活パターンによる支出等を提示し、イメージをもてるようにする。	
2 3	卒業後の生活②	9	○	・困ったときの相談について ・余暇活動について		・健全な生活を送るため、危険回避と困難時の対応策を知る。 ・余暇活動にも意識を向けより豊かな生活へのイメージをもつ。		・生徒への事前調査を行い、具体策などを検討できるようにする。
	卒業生の話を聞く会			・卒業後の就労や生活について		・卒業生の話を聞いて、自身の卒業後の生活についてイメージをもつ。	・聞く視点、質問事項を事前に考える。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。